



2026年2月13日

各 位

会社名 石原産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大久保 浩
(コード番号 4028 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員財務本部長 潮見 統一郎
(TEL. 06-6444-1850)

2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月6日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想及び2025年5月8日に公表しました配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 2026年3月期通期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------|----------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 152,000 | 百万円 16,000 | 百万円 16,400 | 百万円 12,200 | 円銭 318.90 |
| 今回修正予想(B) | 154,500 | 17,000 | 18,000 | 13,000 | 339.74 |
| 増減額(B-A) | 2,500 | 1,000 | 1,600 | 800 | |
| 増減率(%) | 1.6 | 6.3 | 9.8 | 6.6 | |
| (ご参考)前期(2025年3月期)実績 | 145,196 | 10,482 | 11,392 | 8,410 | 219.98 |

(2) 修正の理由

2026年3月期連結業績予想につきましては、無機化学事業は事業構造改革を着実に推進しているものの、酸化チタンの販売においては依然として厳しい事業環境が続くことが見込まれます。一方、有機化学事業は主力の農薬が海外を中心に引き続き好調な販売が推移する見込みであり、収益拡大に寄与する見通しです。また、為替レートは米ドル、ユーロともに前回発表予想の想定より円安に推移しており、全体の収益を押し上げることが見込まれます。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を上回ると予想しております。

2. 2026年3月期配当予想の修正

(1) 修正の内容

| 基準日 | 年間配当金 | | |
|--------------------|--------|--------|---------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 | 30円00銭 | 70円00銭 | 100円00銭 |
| 今回修正予想 | | 90円00銭 | 120円00銭 |
| 当期実績 | 30円00銭 | | |
| 前期実績 (2025年3月期) | 0円00銭 | 85円00銭 | 85円00銭 |

(2) 修正の理由

当社は、企業価値を高めるとともに、株主の皆様へ利益を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位置付けております。

配当につきましては、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続を基本に考えております。

当社は、現中期経営計画「Vision 2030 Stage II」(2024～2026年度)において、最終年度(2026年度)に連結配当性向40%の達成を目指しております。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、同期間中はDOE(連結株主資本配当率)3%を下限とした安定的な配当を実施してまいります。

期末配当予想につきましては、このような配当方針に基づき、2026年3月期通期の業績予想を踏まえ、前回発表予想の70円から20円増配の1株当たり90円とさせていただく予定です。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり120円(うち中間配当金30円)となる予定です。

(注) 上記の予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績、配当等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上